

小中一貫教育、CS・地学協働のさらなる充実へ

小中一貫・CS 通信

NO.72 R7.3.19

幕別町教育委員会 学校教育推進員

あふれる陽光に春の訪れを感じる日々の中、令和6年度が終了します。この1年、小中一貫教育とCSはさらに前進し、その土台を確実なものにしてきました。各学園・各学校の奮闘に改めて敬意を表します。各学園・各学校では、7年度第1回の学校運営協議会を開催し、6年度の振り返りをもとに新たな方策をもって新年度の取組をスタートさせています。

今月は、小中一貫教育とCSの1年間を振り返り、7年度の展望を考えていきます。

幕別町の小中一貫教育・CS 今年度の成果を考える

今年度の小中一貫教育、CS、地域学校協働活動のそれぞれについて成果を考えます。

成果1 小中一貫教育 学園みんなで進める意識の高まり

①自走する各部会の動きが活発に 学園の中に置かれている各部会の先生方が主体的に動き、先生方の手によって様々な取組が進むようになりました。義務教育学校に向けて検討が進むまくべつ学園の開校部会、さつない学園・札内東学園の部会内小グループの動きなど例年にも増して活発さが目立ちました。また、中学校が大変な時に小学校校長である学園長がサポートに入ったちゅうるい学園や、学園マラソン記録会など学園全体の取組を全教職員で成功させた糠内学園など、学園みんなで進めていこうとする機運がかつてなく高まっています。担当の先生同士が交流する生徒指導交流会や特別支援教育交流会の定期開催、学園全教職員が参加する合同研修会も定着してきました。



②「つなぐ」「そろえる」小中、小小の連携の定着

先生方の交流に加えて、子ども同士が交流する小中、小小の連携も定着してきました。中学校登校、乗入授業の定着に加えて、各種合同授業も多数行われるようになっていきます。総合の小中合同授業を複数行うまくべつ学園、小中連携のふるさと学習（かぼちゃプロジェクト、シーニックカフェ学習）を充実させるちゅうるい学園、オンラインの小小連携合同授業を継続する糠内学園、途別小・札南小2校による合同学習を実施しているさつない学園、白人小・札北小2校による

ふるさと学習合同授業（野遊び×教育プログラム）を継続する札内東学園。「つなぐ」「そろえる」という小中一貫教育の肝が充実してきています。

成果2 CS(コミュニティ・スクール) 熟議+具体的行動の充実

①熟議の充実に加えて、具体的行動に踏み出す

昨年から、次年度の経営方針の基礎を形作る熟議が各学園で行われるようになり、それが今年度いっそう充実しました。委員が各学校の保護者の意見を集約して話し合った糠内学園や、目指す子ども像を継続して熟議してきた札内東学園をはじめ、各学園で学校経営・学校

運営に直結する熟議がされています。

今年度はそれにとどまらず、運営協議会の発案で地域合同あいさつ運動に取り組んだまくべつ学園、さつない学園、委員がPTA総会で運営協議会の説明会を開いた糠内学園など、具体的な行動が多く見られました。また、運営協議会がふるさと学習・キャリア教育をコーディネートするちゅうるい学園、地学協働本部のメンバーが多数委員となっている札内東学園など、すべての学園が実際に行動する運営協議会となってきました。CSが次のステージに進んだ1年となりました。



成果3 地学協働 体制整備と工夫された活動の展開

①CS・地学協働活動推進委員会の設置 町全体のCSと地学協働活動の推進を担当する推進委員会が教育委員会内に設置されました。統括コーディネーターも位置付けられ年2回の会合も開かれています。情報交流の場としてオープンチャットルーム「幕別CS・地学協働」も作られ、参加者が少しずつ増えてきている状況です。



ほかに幕別町小中一貫教育・CS推進連絡会議という5つの学園が集まって交流する会議があり、この連絡会議と推進委員会の2つが今後の活動の推進役になっていく体制が次第に整ってきました。

②工夫された活動の展開 地域学校協働本部をもつ札内東学園と糠内学園では、それぞれの特長を生かした取組が進んでいます。チロッター、きたよ一の学校ボランティアの人数と活動が広がっている札内東学園。運営協議会委員が協働本部メンバーを兼ね委員退任後はサポーターとして残り輪を広げている糠内学園。協働本部をもたない学園も、町内会との連携を取って地域あいさつ運動に取り組んだり、地域学習のコーディネート機能を果たしたりと、工夫された活動が展開されています。地域協働活動にはこれではなければ、という正解はありませんので、それぞれが工夫して活動を作っていくことになります。今年度は、その貴重な一歩を記した1年となりました。



次年度に向けて 取り組むべきこと

次年度は、

- ① CS・地学協働活動の具体的な取組を1つでも2つでも増やすこと
- ② 中学校の教科書が変わることから基礎となる小中一貫教育課程のマイナーチェンジを図ること
- ③ 町民に広く知らせる広報活動を粘り強く進めること

が課題となります。

地域、保護者、学校・学園みんなの力を結集して、いっそうの充実を図る年にしたいものです。

小中一貫教育・CS関係 4月の動き	
3日(木)	まくべつ学園春休み学習教室(新入生対象) 糠内学園定例経営会議
4日(金)	さつない学園春休み学び講座(新入生対象) さつない学園校長等連絡調整会議
7日(月)	まくべつ学園企画会議
15日(火)	各学園総会(全体会・合同職員会議等) (教育振興会総会終了後)
28日(月)	まくべつ学園合同分掌会議 さつない学園生徒指導交流会
※日程未定 ちゅうるい学園運営協議会	
※まくべつ学園は組織の見直しにより、各会議の名称が変更になっています	